

「奈良の鹿愛護会」の業務の現状について

1. 愛護会業務の現状

愛護会の業務は多岐にわたる（表 1）が、鹿苑の清掃や収容個体の世話等の「飼育・施設管理」にかかる業務で 38%、市街地逸出個体等の追い上げや生捕個体の収容等の「出勤（24 時間）」で 26%を占め、これらで業務時間の半分以上を占めている（図 1）。

主な作業場所別では、鹿苑内では「飼育・施設管理」に係る業務で 58%、「診療」に係る業務で 27%を占め、これらで業務時間の大半を占めている。鹿苑外では「出勤（24 時間）」に係る業務が 78%と大半を占めている（図 2）。

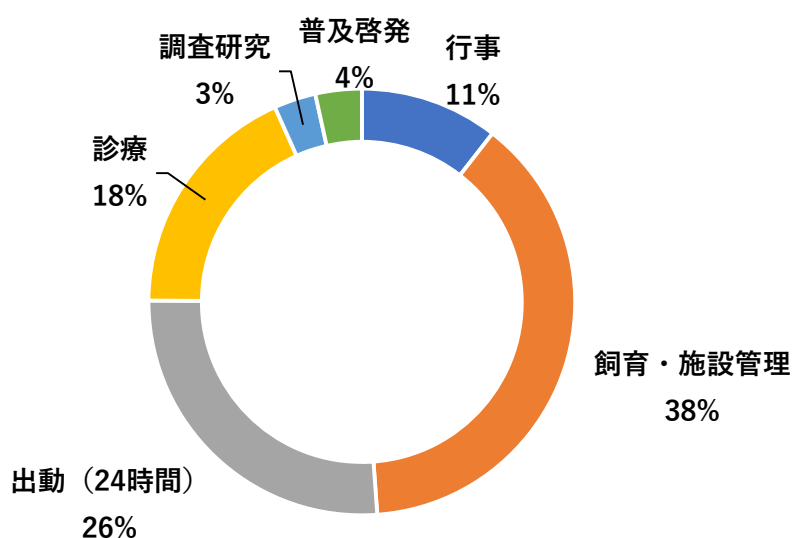


図 1 総業務量（時間）に占める各業務分類の割合
（出典：奈良の鹿愛護会資料より算出）

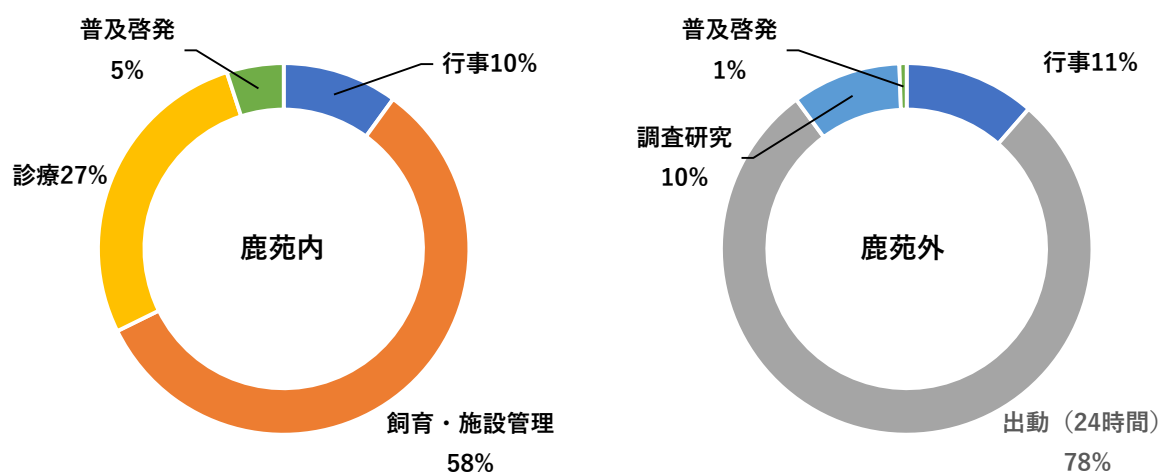


図 2 主な作業場所別の総業務量（時間）に占める各業務分類の割合
（出典：奈良の鹿愛護会資料より算出）

表 1 愛護会の業務内容

主な作業 場所	分類	業務内容	
鹿苑内	飼育管理	給水、給餌 餌の受け取り（購入分、外部提供のものを含む）	
	施設管理	鹿苑内外のメンテナンス作業（泥あげ、柵補修、清掃等） 死体焼却処理（死体搬入、焼却炉稼働、灰処理）	
	診療	傷病シカの応急処置 傷病シカの手術等措置（外科手術、副え木） 傷病シカの経過観察 傷病シカのリハビリ	
	行事		病理検査（剖検、病理検査、血液検査等）
			角きり（実施・準備） 慰霊祭（実施・準備）
			子鹿公開・子鹿公園デビュー（シカの移動、会場、看板設置）
			愛護月間（6月、11月：看板、啓発放送、ブース展示等）
			大学生実習受入れ（獣医補助、10日間ずつ2名）
			体験プログラム（鹿角ストラップづくり等）
			鹿苑見学案内
普及啓発	角洗い、角サイズ分類 ブログ作成（鹿寄せ・ドングリ・治療） 獣医によるセミナー（治療現場を体験） 職場体験（中学校等） 伝統角細工継承作業（台座付き工芸品）・販売		
鹿苑外	出勤	傷病ジカの収容・パトロール・死体回収 逸出ジカ追上（市街地、公園、河川敷等） C地区捕獲檻収容（麻酔で収容、タグ付け） 農作物被害対応（追い出し、柵設置助言相談） 人身事故鹿対応（問題シカ捕獲、収容、苦情相談） 夜間対応業務（宿直 17:15～翌 8:30）治療室搬入、死体回収、 通報現場確認、警察等からの電話対応	
	行事		妊娠鹿収容（早朝捕獲）、チップ入れ、解放 角ジカ収容・角切り、チップ入れ、解放 鹿寄せ（ホルン吹き、説明、ドングリまき）
			外部イベント出店（馬見公園・民博等）
			出前講座（愛護会の仕事紹介、SDGS）
	調査研究	ポイント調査（頭数、生態調査・清掃） 個体識別・身体計測、データ蓄積 行政、大学、企業等からの協力依頼対応	
	普及啓発	頭数調査（7月15・16日）5:30～開始 クリーンアップディアパーク（合同清掃）	

出典：奈良の鹿愛護会資料

2. 愛護会業務の優先度

資料 3-2 において整理した愛護会の活動内容及び鹿苑の役割にもとづき、下記の活動は優先度が高い。

- ① 「奈良のシカ」との共存施策としての伝統行事の保存継承
- ② 「奈良のシカ」の保護収容
- ③ 「奈良のシカ」の保護育成のための調査研究及び普及啓発活動

現在、愛護会の業務負荷の現状は、これらを十分に実施できる状態ではなく、特に下記については負荷軽減が必要と考えられる。

- 収容個体の飼育・施設管理
- 緊急出動（特に追い上げ、C 地区捕獲収容）
- 夜間対応